

令和元年度中国・遼寧省派遣交流職員レポート④ ～中国の便利な生活～

你好！こんにちは！今回は、中国生活に欠かせない便利なサービス（アプリ）についてご紹介します。中国のスマホ決済は日本でも有名ですが、他にもあまり知られていない便利なサービスがたくさんあります。今回の投稿では、中国生活の中でその利便性を体感したサービスをピックアップして紹介します。

○スマホ決済

近年、中国でスマホ決済があらゆる場所で普及しているのは、日本でも広く知られています。実際に中国に住んでみると全くその通りで、財布や現金を持ち歩かない生活を体験することができました。

日本のキャッシュレス施策といえばクレジットカードが中心ですが、中国では使う場面がほとんどありません。中国では一部の人しかクレジットカードを作れないため、一般店舗での普及が遅れているのだと思われます。ちなみに、中国人が海外旅行先でよく使う銀聯（ユニオンペイ）はデビットカードで、中国で銀行口座を開設すると付帯する決済サービスです。中国でクレジットカードの普及が進まない中、その間隙を縫って急速に拡大したのがスマホ決済と言えます。

日本には現在、様々なスマホ決済アプリが乱立していますが、中国ではチャットコミュニケーションアプリの微信（WeChat）を運営する騰訊（テンセント）が提供している「微信支付（WeChat ペイ）」と、ネットショッピングサイトの淘宝などを運営するアリババが提供している「支付宝（アリペイ）」の2つに集約されています。微信（WeChat）や淘宝は非常にメジャーなネットサービス・アプリで、中国人全員がアカウントを持っていると言っても過言ではありません。

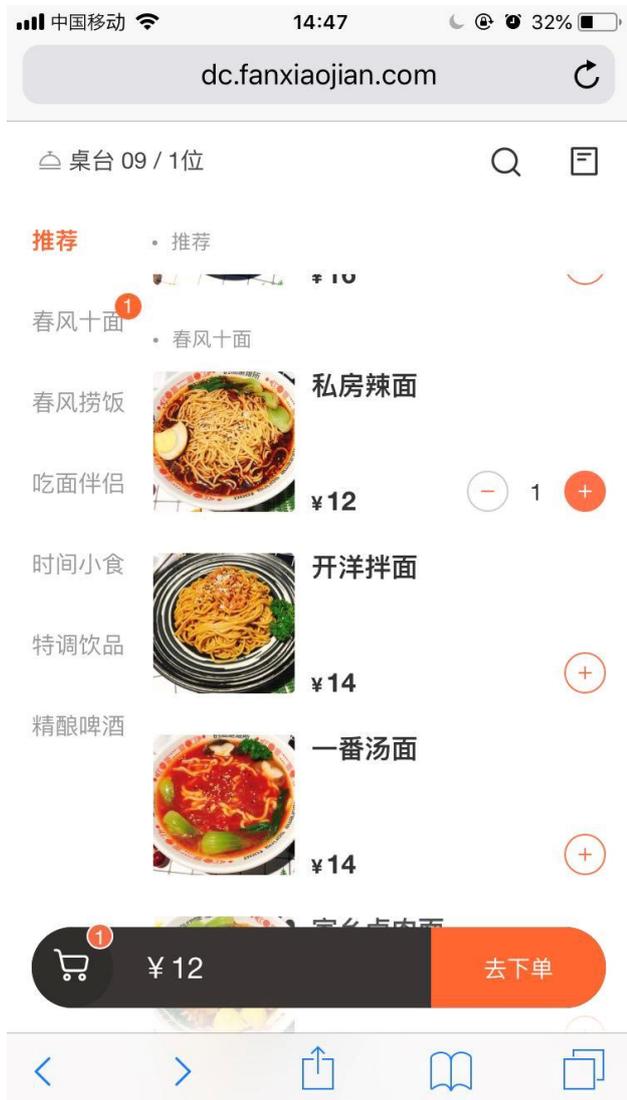
中国でスマホ決済を開始するには、まず銀行口座を開設しなければなりません。そのため、一定期間滞在する外国人でなければスマホ決済を利用できませんが、一度使ってみるとその便利さに驚きます。高級デパートから街の商店・食堂、病院や公的機関に至るまで、あらゆる店舗でスマホ決済できます。また、ネットショッピングやチケットの予約サイト、アプリの会員費など、各種インターネットサービスの決済場面でも利用できます。

さらに、個人間のお金のやりとりにもスマホ決済を使います。私は普段、大学で中国語を勉強していますが、入学したらまず担任の先生や事務室職員と微信（WeChat）を交換し、クラスや寮などのグループチャットに加入します。教科書代や学校行事参加費など集金が必要な場面では、グループチャットに通知を送れば WeChat ペイ経由でその場で回収できます。

微信（WeChat）や支付宝（アリペイ）のメリットは、決済の利便性だけに留まりません。あらゆるサービスをそのアプリ1つで済ませられるのが、最大の魅力と言えます。例えば、下記で紹介する出前やタクシー配車、シェアバイク、モバイルバッテリーのシェアリングなど、それらの個別サービスに会員登録をしなくとも、WeChat 等の情報と連携すればその場で簡単に利用開始できます。他にも、店舗の会員・ポイントカードの管理、投資信託等の金融商品購入、信用カスコアの表示など、幅広い分野のサービスが利用できます。これが微信（WeChat）や支付宝（アリペイ）が「スーパーアプリ」と呼ばれる所以です。

中国の生活で現金を使う場面といえば、交通カードが使えない古い設備のバスの運賃や一部の観光施設入場料の支払いくらいしかありません。もし現金の手持ちがなくても、周囲に声をかけて現金を持っている人を探して立て替えてもらい、相手にその場でスマホ送金すれば切り抜けられます。実際にこのよう

な場面を見かけたことがあります。とにもかくにも中国のキャッシュレス化はスマホに支えられていると言えます。



中国の一部の飲食店には、メニューがなくスマホから注文します。席に着くと、各テーブルに割り当てられたQRコードをスマホで読み取って、上図のようなメニュー画面にアクセスします。スマホ上で決済すると、店舗側に注文が入り、料理が出て来る仕組みです。

観光地や映画館などの入場チケットもスマホで購入することが多いです。上図は北京のチベット仏教寺院「雍和宮」を訪問した時のチケットです。施設の入口にQRコードが掲示されているので、スマホから読み取ってチケットを購入します。決済後に表示されるQRコードをゲートにかざして入場します。

○出前サービス

中国生活の醍醐味と言えば、安くて早い出前サービスです。日本にも出前はありますが、それと比べものにならないくらい便利で生活に根付いています。「美团外卖」や「饿了么」などの出前サービスアプリから注文するのが基本ですが、「大众点评」(日本の食べログ・ホットペッパーのような評価サイト)や微信(WeChat)、支付宝(アリペイ)などを經由して利用することもできます。チェーン店はもちろん小

さなレストランや町の食堂に至るまで、あらゆる飲食店が出前に対応しています。

注文者と飲食店の間を仲介するのが出前サービスアプリで、配達員の手配や配達状況の確認もアプリ上でできます。瀋陽では注文の下限金額は15元（約230円）ほどで、食事代とは別に容器代1～2元（30円程度）や配送費3～5元（50～80円）が付加されますが、無料であることも多いです。注文内容や店との距離にもよりますが、アプリで注文してから30～40分で到着します。

自宅を出ずに温かい食事が安く届くので、一度使い始めると病みつきになります。ある留学生の友達は、学内の食堂まで歩くのも億劫になり、学食の食事を出前で注文して自分の宿舍まで届けさせていました。自宅以外にも、学校や勤務先のオフィス、外出先の公園、旅行先のホテルなど、スマホ1つでどこでも食事を届けてもらえます。また、食事の配送以外にも、医薬品購入の代行や、スーパーで買った食材・日用品の配達などもお願いできます。出前サービスは中国生活には欠かせません。



出前アプリから配達状況を確認

出前で届いた红烧日本豆腐（玉子豆腐の甘辛煮）、お粥、マントウの朝食セット

○タクシー配車

中国のタクシー料金は日本と比べると格段安く、盛んに利用されています。瀋陽では、初乗りおよそ8元（約120円）で1メートルごとに2元（約30円）かかります。瀋陽の市街地内の移動であれば大した金額はかからないので、終電を気にせず外出できます。道端で流しのタクシーを捕まえることもできますが、タクシー配車アプリで手配するのも便利です。「滴滴 (DiDi)」というアプリが最大手で、日本にも展開しています。利用料金はスマホ決済や降車時に運転手に直接支払うこともできるので、事前にアプリをダウンロードしておけば外国人旅行者でも利用できます。

中国の配車アプリでは、タクシー以外にも相乗りの車や運転代行を手配することができます。荒天時や深夜など車が見つかりにくい時間帯は、アプリ上で手配する際に「红包」(ご祝儀、お小遣い) をチップのように上乗せすると、車が見つかりやすくなります。「红包」機能が搭載されている点がとても中国ら

しいと感じます。降車後も、利用した車両の運転手の情報をアプリから確認できるので、車内の忘れ物の問い合わせはもちろん、万が一ぼったくりなど不当な対応をされた場合には、運転手の評価を下げたりクレームを入れたりすることもできます。中国を旅行する際は、タクシーを使って限られた滞在時間を有効活用することをお勧めします！

○シェアバイク

中国においてシェアバイクは、温室効果ガスを排出しない環境にやさしい交通手段として広く受け入れられています。中国の都心部には、歩道の至るところにシェアバイクが駐輪されています。地下鉄が3路線しかない瀋陽は電車網が発達しているとは言えず、バスやタクシーは交通渋滞によく巻き込まれるので、シェアバイクはとても便利です。瀋陽は道が平らなので、地下鉄で1駅程度の距離なら、自転車を漕ぐのも苦ではありません。留学生や現地駐在員には自前の自転車を買うのも不便なので、必要な時に都度借りることができるシェアバイクは重宝します。



シェアバイクの運営会社は何社ありますが、自転車の車体の色によって見分けられます。青色の自転車は「哈罗单车 (hellowbike)」、緑色は「滴滴单车」、オレンジ色は「摩拜单车 (mobike)」、黄色は「ofo 小黄车」です。使い方はどの会社も同じで、スマホのアプリから車体に印刷されている QR コードを読み取り開錠したら、すぐに乗ることができます。目的地到着後、駐輪して施錠すると利用終了となり、走行距離や時間がアプリ上で自動計算されます。利用料は普通の自転車で1回1元（約15円）、電動自転車なら1回3元（約45円）程度で、スマホで決済まで完結できます。

普段の日常生活における移動はもちろん、旅行先で歩くと距離があるものの公共交通機関を利用するとかえって不便というケースや、広い観光地区内で見どころだけを効率的に回りたいという場合に、シェアバイクはとても便利です。外国人旅行者でも、微信 (WeChat) のアカウントとクレジットカードを連携させると利用できるシェアバイクもあるので、中国旅行で試しに使ってみてください！

○モバイルバッテリーのシェアリング

中国では何をやるにもスマホが必要になるので、充電切れは死活問題です。私は自前のモバイルバッテリーを持ち歩いています。これは中国では少数派のようで、大半の人はモバイルバッテリーのシェアリングを利用しています。レストラン・食堂、スーパー、ショッピングモール、鉄道の駅、空港など、あらゆる施設にモバイルバッテリーのスタンドが設置されているので、スマホを通してレンタルの手続きをします。利用者に話をきくと、1時間1～2元（約15～30円）ほどで借りられるそうです。充電が終わったら、街の至る所にスタンドがあるので、空いているところを見つけて返却すればOKです。微信（WeChat）などを通して利用者登録をすれば、デポジットを入金せずに借りられるので、とても手軽で便利です。



以上が、私が中国生活で便利だと感じたサービスです。スマホさえあれば、日常生活の基本的な用事は全て済ませることができます。今後、日本も中国のようにスマホ1つで外出できるようになれば嬉しいです！